

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	後潟地区	平成27年度	平成29年度	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	規模拡大意欲はあるが、地区内の農地はある程度担い手へ集積されてしまっており、条件に合った農地が見つからない。	出し手を掘り起こし、農地中間管理事業による積極的なマッチングを図ることによりH31年度までに達成させる。
農産物の高付加価値化	新品種を作付するための知識や技術が不足している。新品種の作付を拡大する準備が整っていない。	講習会への参加を促す。種籾の調達を促し、少ない面積からでも作付させH31年度までに達成させる。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	規模拡大意欲はあるが、地区内の農地はある程度担い手へ集積されてしまっており、条件に合った農地が見つからない。	出し手を掘り起こし、農地中間管理事業による積極的なマッチングを図ることにより、H31年度までに達成させる。
農産物の高付加価値化	新品種を新たに作付するための知識や技術が不足している。新品種の作付を拡大する準備が整っていない。	講習会への参加を促す。目標面積に必要な種籾の調達を促すことにより、H31年度までに達成させる。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地利用最適化推進委員の現場活動により農地の出し手の掘り起こしに努め、農地中間管理事業による農地の集積・集約化を図る。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 関係機関と連携し、農地中間管理事業、農業経営相談所、農業次世代人材投資事業などの活用を通じ、新規就農者の確保・育成のほか、担い手への農地集積、農業経営の法人化などを支援し、農業経営の体質強化を図っていく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 定期的な地域の話し合いを継続して実施し、地域の農業者及び関係団体等により、農業の問題・課題の共有化を図るとともに、適切な役割分担のもと、解決に向けた行動を促すことにより、実効性のあるプランの運用を図っていく。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 未達成の要因と課題を把握し、関係機関との連携によりフォローアップを図り、目標達成を促す。</p>
--

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	女鹿沢地区	平成27年度	平成29年度	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	規模拡大意欲はあるが、地区内の農地はある程度担い手へ集積されてしまっており、条件に合った農地が見つからない。	出し手を掘り起こし、農地中間管理事業による積極的なマッチングを図ることによりH31年度までに達成させる。
農産物の高付加価値化	新品種を作付するための知識や技術が不足している。	講習会への参加を促す。H30年産の種粒を確保しており、H30年度で目標達成見込みである。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	規模拡大意欲はあるが、地区内の農地はある程度担い手へ集積されてしまっており、条件に合った農地が見つからない。	出し手を掘り起こし、農地中間管理事業による積極的なマッチングを図ることによりH31年度までに達成させる。
農産物の高付加価値化	新品種を新たに作付するための知識や技術が不足している。	講習会への参加を促す。H30年産の種粒を確保しており、H30年度で目標達成見込みである。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地利用最適化推進委員の現場活動により農地の出し手の掘り起こしに努め、農地中間管理事業による農地の集積・集約化を図る。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 関係機関と連携し、農地中間管理事業、農業経営相談所、農業次世代人材投資事業などの活用を通じ、新規就農者の確保・育成のほか、担い手への農地集積、農業経営の法人化などを支援し、農業経営の体質強化を図っていく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 定期的な地域の話し合いを継続して実施し、地域の農業者及び関係団体等により、農業の問題・課題の共有化を図るとともに、適切な役割分担のもと、解決に向けた行動を促すことにより、実効性のあるプランの運用を図っていく。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 未達成の要因と課題を把握し、関係機関との連携によりフォローアップを図り、目標達成を促す。</p>
--

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、必須目標となる地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他課題と対策等について記入する。

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	高田地区	平成27年度	平成29年度	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	規模拡大意欲はあるが、地区内の農地はある程度担い手へ集積されてしまっており、条件に合った農地が見つからない。	出し手を掘り起こし、農地中間管理事業による積極的なマッチングを図ることによりH31年度までに達成させる。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	規模拡大意欲はあるが、地区内の農地はある程度担い手へ集積されてしまっており、条件に合った農地が見つからない。	出し手を掘り起こし、農地中間管理事業による積極的なマッチングを図ることによりH31年度までに達成させる。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地利用最適化推進委員の現場活動により農地の出し手の掘り起こしに努め、農地中間管理事業による農地の集積・集約化を図る。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 関係機関と連携し、農地中間管理事業、農業経営相談所、農業次世代人材投資事業などの活用を通じ、新規就農者の確保・育成のほか、担い手への農地集積、農業経営の法人化などを支援し、農業経営の体質強化を図っていく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 定期的な地域の話し合いを継続して実施し、地域の農業者及び関係団体等により、農業の問題・課題の共有化を図るとともに、適切な役割分担のもと、解決に向けた行動を促すことにより、実効性のあるプランの運用を図っていく。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 未達成の要因と課題を把握し、関係機関との連携によりフォローアップを図り、目標達成を促す。</p>
--

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	荒川地区	平成27年度	平成29年度	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
農産物の高付加価値化	加工用野菜を作付けまでしたことを証明する書類が無かった。	作付面積を現地調査する。H31年度までに達成させる。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目 (必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置 及び目標達成見込時期等
農産物の高付加価値化	加工用野菜を作付けまでしたことを証明する書類が無かった。	作付面積を現地調査する。H31年度までに達成させる。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地利用最適化推進委員の現場活動により農地の出し手の掘り起こしに努め、農地中間管理事業による農地の集積・集約化を図る。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 関係機関と連携し、農地中間管理事業、農業経営相談所、農業次世代人材投資事業などの活用を通じ、新規就農者の確保・育成のほか、担い手への農地集積、農業経営の法人化などを支援し、農業経営の体質強化を図っていく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 定期的な地域の話し合いを継続して実施し、地域の農業者及び関係団体等により、農業の問題・課題の共有化を図るとともに、適切な役割分担のもと、解決に向けた行動を促すことにより、実効性のあるプランの運用を図っていく。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 未達成の要因と課題を把握し、関係機関との連携によりフォローアップを図り、目標達成を促す。</p>
--

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	横内地区	平成27年度	平成29年度	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
農産物の高付加価値化	新品種を作付するための知識や技術が不足している。	講習会への参加を促す。種籾の調達を促すことによりH31年度までに達成させる。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
農産物の高付加価値化	新品種を新たに作付するための知識や技術が不足している。	講習会への参加を促す。種籾の調達を促すことによりH31年度までに達成させる。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地利用最適化推進委員の現場活動により農地の出し手の掘り起こしに努め、農地中間管理事業による農地の集積・集約化を図る。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 関係機関と連携し、農地中間管理事業、農業経営相談所、農業次世代人材投資事業などの活用を通じ、新規就農者の確保・育成のほか、担い手への農地集積、農業経営の法人化などを支援し、農業経営の体質強化を図っていく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 定期的な地域の話し合いを継続して実施し、地域の農業者及び関係団体等により、農業の問題・課題の共有化を図るとともに、適切な役割分担のもと、解決に向けた行動を促すことにより、実効性のあるプランの運用を図っていく。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 未達成の要因と課題を把握し、関係機関との連携によりフォローアップを図り、目標達成を促す。</p>
--

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	野沢地区	平成27年度	平成29年度	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
農産物の高付加価値化	系統更新した場合に、未収益期間の減収分を補てんできない。 新品種を新たに作付するための知識や技術が不足している。 新品種を作付するための農地が見つからない。	改植事業の活用を促す。講習会への参加を促す。目標面積に必要な種別の調達を促す。出し手を掘り起こし、農地中間管理事業による積極的なマッチングを図る等によりH31年度までに達成させる。
経営コストの縮減	コスト縮減を意識していたが、必要な材料を購入せざるを得なかった。	材料の管理を徹底させ、購入に当たっては必要最低限にさせることによりH31年度までに達成させる。
経営面積の拡大	規模拡大意欲はあるが、地区内の農地はある程度担い手へ集積されてしまっており、条件に合った農地が見つからない。	出し手を掘り起こし、農地中間管理事業による積極的なマッチングを図ることによりH31年度までに達成させる。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
農産物の高付加価値化	系統更新した場合に、未収益期間の減収分を補てんできない。 新品種を新たに作付するための知識や技術が不足している。 新品種を作付するための農地が見つからない。	改植事業の活用を促す。講習会への参加を促す。目標面積に必要な種別の調達を促す。出し手を掘り起こし、農地中間管理事業による積極的なマッチングを図る等によりH31年度までに達成させる。
経営コストの縮減	コスト縮減を意識していたが、必要な材料を購入せざるを得なかった。	材料の管理を徹底させ、購入に当たっては必要最低限にさせることによりH31年度までに達成させる。
経営面積の拡大	規模拡大意欲はあるが、地区内の農地はある程度担い手へ集積されてしまっており、条件に合った農地が見つからない。	出し手を掘り起こし、農地中間管理事業による積極的なマッチングを図ることによりH31年度までに達成させる。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地利用最適化推進委員の現場活動により農地の出し手の掘り起こしに努め、農地中間管理事業による農地の集積・集約化を図る。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 関係機関と連携し、農地中間管理事業、農業経営相談所、農業次世代人材投資事業などの活用を通じ、新規就農者の確保・育成のほか、担い手への農地集積、農業経営の法人化などを支援し、農業経営の体質強化を図っていく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 定期的な地域の話し合いを継続して実施し、地域の農業者及び関係団体等により、農業の問題・課題の共有化を図るとともに、適切な役割分担のもと、解決に向けた行動を促すことにより、実効性のあるプランの運用を図っていく。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 未達成の要因と課題を把握し、関係機関との連携によりフォローアップを図り、目標達成を促す。</p>
--

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	五郷地区	平成27年度	平成29年度	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	規模拡大意欲はあるが、地区内の農地はある程度担い手へ集積されてしまっており、条件に合った農地が見つからない。	出し手を掘り起こし、農地中間管理事業による積極的なマッチングを図ることによりH31年度までに達成させる。
農産物の高付加価値化	新品種を作付するための知識や技術が不足している。	講習会への参加を促す。種籾の調達を促すことによりH31年度までに達成させる。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	規模拡大意欲はあるが、地区内の農地はある程度担い手へ集積されてしまっており、条件に合った農地が見つからない。	出し手を掘り起こし、農地中間管理事業による積極的なマッチングを図ることによりH31年度までに達成させる。
農産物の高付加価値化	新品種を新たに作付するための知識や技術が不足している。	講習会への参加を促す。目標面積に必要な種籾の調達を促すことによりH31年度までに達成させる。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地利用最適化推進委員の現場活動により農地の出し手の掘り起こしに努め、農地中間管理事業による農地の集積・集約化を図る。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 関係機関と連携し、農地中間管理事業、農業経営相談所、農業次世代人材投資事業などの活用を通じ、新規就農者の確保・育成のほか、担い手への農地集積、農業経営の法人化などを支援し、農業経営の体質強化を図っていく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 定期的な地域の話し合いを継続して実施し、地域の農業者及び関係団体等により、農業の問題・課題の共有化を図るとともに、適切な役割分担のもと、解決に向けた行動を促すことにより、実効性のあるプランの運用を図っていく。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 未達成の要因と課題を把握し、関係機関との連携によりフォローアップを図り、目標達成を促す。</p>
--

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	奥内地区	平成27年度	平成29年度	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	規模拡大意欲はあるが、地区内の農地はある程度担い手へ集積されてしまっており、条件に合った農地が見つからない。	出し手を掘り起こし、農地中間管理事業による積極的なマッチングを図ることによりH31年度までに達成させる。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	規模拡大意欲はあるが、地区内の農地はある程度担い手へ集積されてしまっており、条件に合った農地が見つからない。	出し手を掘り起こし、農地中間管理事業による積極的なマッチングを図ることによりH31年度までに達成させる。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地利用最適化推進委員の現場活動により農地の出し手の掘り起こしに努め、農地中間管理事業による農地の集積・集約化を図る。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 関係機関と連携し、農地中間管理事業、農業経営相談所、農業次世代人材投資事業などの活用を通じ、新規就農者の確保・育成のほか、担い手への農地集積、農業経営の法人化などを支援し、農業経営の体質強化を図っていく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 定期的な地域の話し合いを継続して実施し、地域の農業者及び関係団体等により、農業の問題・課題の共有化を図るとともに、適切な役割分担のもと、解決に向けた行動を促すことにより、実効性のあるプランの運用を図っていく。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 未達成の要因と課題を把握し、関係機関との連携によりフォローアップを図り、目標達成を促す。</p>
--

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	滝内地区	平成27年度	平成29年度	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
農業経営の複合化	新規野菜に取り組んだものの、目標とする作付面積に至らなかった。	取組を継続・拡大させるため、必要な苗の購入を促すことによりH31年度までに達成させる。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
農業経営の複合化	新規野菜に取り組んだものの、目標とする作付面積に至らなかった。	取組を継続・拡大させるため、必要な苗の購入を促すことによりH31年度までに達成させる。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地利用最適化推進委員の現場活動により農地の出し手の掘り起こしに努め、農地中間管理事業による農地の集積・集約化を図る。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 関係機関と連携し、農地中間管理事業、農業経営相談所、農業次世代人材投資事業などの活用を通じ、新規就農者の確保・育成のほか、担い手への農地集積、農業経営の法人化などを支援し、農業経営の体質強化を図っていく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 定期的な地域の話し合いを継続して実施し、地域の農業者及び関係団体等により、農業の問題・課題の共有化を図るとともに、適切な役割分担のもと、解決に向けた行動を促すことにより、実効性のあるプランの運用を図っていく。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 未達成の要因と課題を把握し、関係機関との連携によりフォローアップを図り、目標達成を促す。</p>
--